



精進



R2.7.22

能力を磨いて自分の足場を作れ!



自分の足場を作るということは、生きていく上での基盤をもつことです。何か一つでもよいので足場になり得る「自慢できるもの」をもち、それを伸ばしてください。これは3年生がこれから「進路実現」に向けて本格的に始動するこの時期に特に必要となるものです。1,2年生も同様に自分の行動や考え方を捉え直してみましょう。最初は些細なことでもよいので、大切に育てて自信がついてきたら次の次元へと発展させてみましょう。その手引きの一つとして、「読書」を勧めます。1学期を振り返ると、新型コロナウイルス感染症予防に伴っての臨時休校や3密・不要不急の外出を控えるなど、今までの生活からは想像もできない変化に戸惑いながらの生活をしてきました。その上、この状況は未だに終息が見えません。明日からの夏休みも、今までとは違った過ごし方になってしまうでしょう。この機会に、今までとは違った実り方を追求する夏休みを考えてみましょう。まずは、画像や動画ではなく活字の読書に数多く触れてみてください。今までとは違った色づき方や実り方をすると思います。今回の新型コロナウイルス感染症予防でみなさんが感じたように、環境や時代が変われば世の中の状況は大きく変化します。今後どのような状況でも、「自分自身を財産と考え、どう生きるか」を念頭に、自分の足場を築いてください。今年8月31日(月)より登校となりますが、夏休み期間中に事故や怪我等なく、鹿工生全員が元気に集い、気持ちのよいスタートを切りましょう!



読書 = 人生を豊かにする投資



読書を通して、その人の生涯や考え方が学べ、気持ちの表現方法などもとても参考になります。目標に対する気持ちの高揚や心のリフレッシュも兼ねて、活字に親しんでみてください。読書は心のお風呂とも言われています。



知識や感性、ものの見方や考え方などを養い、自分らしく生きる勇気を身につけてください。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」とも言われています。



同じものを見て、感じるものが大きく違ってきたり、同じことが起きても、対応に大きな開きが生じてきます。本を読むことで、まるで違う世界を生きることができるのです。

感謝

感謝の気持ちを持つためにも、常に謙虚であれ



何も特別に意識していなかった日常生活が、新型コロナウイルス感染症予防の影響で、今までとは違った状況に直面しています。時には窮屈な思いをすることもあります。反面そうすることで今までの何気ない生活の中に多くの「感謝」を感じる事ができたでしょう。これを機に今までの生活を見直し、新たな視点で精進していきましょう。



周りの人や物に感謝して、謙虚な気持ちを言葉や行動に表すと、自分の心が浄化され、前向きな気持ちになれます。



感謝の気持ちを感じている人の名前と「ありがとう」の数が多ければ、確実に夢は実現に近づき、人生も豊かになります。

目の前のものを見て、誰かの喜ぶ顔を浮かべながら行動する人は、意欲的に楽しくできます。



夏季休業中、特に注意!!



◎ 後で後悔することがないようにスマホを使用するときは特に以下の5点をしっかり守ること

- ① マナーや時間を守って使うこと (アフター10運動の遵守と依存性の回避, 基本的な生活習慣の維持)
- ② 送って平気? 送信前に見直すこと (何気なく送った言葉や写真で加害者になってしまうこともある)
- ③ 個人情報 (写真を含む) を載せない, 送らないこと (悪用されてトラブルに発展することもある)
- ④ 出会い系サイトのトラブルに気をつけること (自分が被害者となる深刻な事件に発展することもある)
- ⑤ 使うなら将来のために賢く使うこと (他人への誹謗中傷, 不謹慎な写真・動画などを掲載しない)

